

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立中央小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（ 93 人 ）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく中間層に多く分布している。
平均正答率（本校 63.1／泉佐野市 69.5／大阪府 71.3／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層が少なく、下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 48.9／泉佐野市 52.4／大阪府 55.4／全国 57.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○書き手の表現の仕方をよりよくするために助言するという趣旨の設問に課題がある。 3 ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する (57.0/67.4) ○目的や意図に応じて、書く事柄を整理することに課題がある。 4 委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する (66.7/78.2) 【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて収集した情報を関係付けながら話し合う趣旨の設問は概ねできている。 2 どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する (73.1/79.2) 【読むこと】 ○登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。 ・『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する (60.2/63.9)	【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことは概ね出来ているが、一部で課題がある。正しく書くことについては読むことに比して課題が大きい。 1 快晴→かいせい (84.9/79.3) 貯金→ちょきん (100/98.3) 省く→はぶく (58.1/81.0) 2 したしい→親しい (57.0/73.8) そうだん→相談 (48.4/64.2) ○ローマ字の表記を読んだり書いたりすることに課題がある。 8－1「りんご」とローマ字で書く (46.2/53.2) －2「あさって」をローマ字で書く (25.8/41.8) －3「h y a k u」を読む (37.6/50.7) ○各設問に対して無回答の割合が比較的高い 1 アサガオのたねをまく (14.0/4.5) したしい友人と出かける (17.2/10.4) 8－1「りんご」とローマ字で書く (18.3/11.9) －2「あさって」とローマ字で書く (20.4/13.7) 8－3「h y a k u」を読む (32.3/20.0)

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【書くこと】 ○グラフを基に、分かったことを的確に書くことに課題がある。 2－「早ね早起き」活動の成果について、＜図1＞の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する。 (39.8/43.4) ○目的や意図に応じて、グラフや表を基に、自分の考えを書くことに課題がある。 2二「早ね早起き」活動の課題について、＜図2＞の結果を基に書く。 (50.5/51.4) 「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、(表2)の結果を基に書く。(52.7/64.2) ○活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉えることに課題がある。 2三「早ね早起き」活動報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する。 (45.2/58.3)	【話すこと】 ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。 1三 スーパーマーケット店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く。 (36.6/50.4) 【読むこと】 ○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことに課題がある。 3－「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する。 (63.4/77.2) 【書くこと・読むこと】 ○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むことに課題がある。 3三「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く。 (41.9/52.9)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	55.9	58.3		2.4
国語の勉強は大切だと思いますか	92.5	91.3		1.2
国語の授業の内容は、よくわかりますか	83.9	80.7		3.2
読書は好きですか	66.7	74.6	◇	7.9
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.4	89.2		3.2
国語の授業で目的に応じて資料を読み自分の考えを話したり書いたりしていますか	57.0	67.0	○	10
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	52.7	62.3	◇	9.6
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気を付けて書いていますか	69.9	74.0		4.1
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	73.1	77.6		4.5
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか （「すべての問題について、最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	64.5	75.1	○	10.6

○「国語が好き」と考えている児童が昨年度と比して増加したことは評価できるものの、まだ低い割合にあることは課題である。(H27) 50.9

○「国語は大切だと思う」「国語は将来役に立つ」と感じている児童の割合は全国と同程度以上で、高い割合にあることは評価できる。国語に対して前向きな意識を持っていることがうかがえる。

○「国語の授業が分かる」「読む時に内容を理解しながら読んでいる」児童は7割を超えている。読んで理解することは比較的できていると児童自身は感じているようだ。

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしている」児童や「国語の授業で発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを考えている」という児童は5～6割程度である。共に昨年度よりは少し増加しているものの、全国と比べて低いことは課題である。

- ・「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりする」 (H27) 42.3
- ・「意見を発表する時、うまく伝わるように話しの組み立てを工夫している」 (H27) 47.1

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく中間層に多く分布している。正答数分布グラフにおいて、なだらかな右肩上がりではなく、いくつもの山が見受けられる。

平均正答率（本校 69.3／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく中間層や下位層への分布の偏りが見受けられる。

平均正答率（本校 41.2／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解することに課題がある。 1（2）2. 1÷0. 7を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く数の大小関係を理解する。 (51. 6/68. 5) ○繰り下がりのある減法の計算については概ね理解できている。 2（1）905－8を計算する (88. 2/90. 9) ○小数の除法の計算をすることに課題がある。 2（3）18÷0. 9を計算する (65. 6/77. 7) ○不等号について概ね理解できている。 3（1）二つの数の大小関係を表す不等号を書く (93. 5/96. 7)	【図形】 ○直方体における面と面の位置関係を理解することに課題がある。 7 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ (65. 6/78. 0) 【数量関係】 ○示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことに課題がある。 9（1）示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことに課題がある (67. 7/80. 2) ○1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。 9（2）定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く (37. 6/50. 9)

算数B	特徴がみられた設問
【数と計算】 ○示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることは概ねできている。 1（1）1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く (91. 4/92. 6) ○示された式の中の数値の意味を理解しそれを記述することに課題がある 2（2）40mハードル走の目標のタイムを求める式に8. 1と4を当てはめて、式と答えを書く (41. 9/50. 5) ○示された式の中の数値の意味を理解し、それを記述することに課題がある。 2（3）目標のタイムを求める式の中の0. 4や0. 3が表す意味を書く (5. 4/15. 6) ○縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述することに課題がある。 3（2）縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く (34. 4/38. 4)	【図形】 ○示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。 5（1）示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く (5. 4/6. 9) ○図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。 5（2）示された四角形を並べてできる図形を選ぶ (21. 5/25. 4) 【量と測定】 ○示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述することに課題がある。 1（2）正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm ² 小さくなることの説明を書く (33. 3/45. 2) 【数量関係】 ○単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することに課題がある。 4（1）学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ (28. 0/48. 3)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.0	66.0	◇	8.0
算数の勉強は大切だと思いますか	92.4	91.9		0.5
算数の授業の内容はよくわかりますか	69.9	80.2	○	10.3
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	75.2	75.8		0.6
算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	82.8	81.0		1.8
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	56.0	67.4	○	11.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	89.9		1.5
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	79.6	80.5		0.9
算数の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	82.8	80.8		2.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.5	84.8	◇	6.3
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「解答しなかったり、途中で諦めた」の割合)	33.3	24.6	◇	8.7
調査問題の解答時間は十分でしたか (A) 「全く足りない」と答えた割合	5.4	2.6		2.8
調査問題の解答時間は十分でしたか (B) 「全く足りない」と答えた割合	17.2	10.5	◇	6.7

○「算数が好き」と考えている児童が昨年度と比して増加したことは評価できるものの、まだ低い割合にあることは課題である。(H27) 53.9%

○「算数は大切だと思う」「国語は将来役に立つ」と感じている児童の割合は全国と同程度以上で、高い割合にあることは評価できる。算数に対して前向きな意識を持っていることがうかがえる。

○「公式や決まりのわけを理解するようにしている児童」、「解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考える児童」の割合が全国同等以上であることは評価できるが、「算数の授業の内容はよく分かる」と考えている児童が昨年度より減り、7割に満たなかった点は大きな課題である。「児童一人ひとりにとって、よりわかりやすい授業づくり」への取り組みを一層充実させていく。(H2) 73.1%

○「解答時間が足りない」と答えた児童が全国に比して多い。技能学習の充実を考えていく必要がある。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子・自己評価・地域での様子】	・就寝時間が遅い。約半数の児童が23時～24時に就寝している。 ・自尊感情の向上は評価できる。 ・各種フェスタ等、多くの行事がある地域である。その機会を生かし、地域愛を育てたい。	○普段（月～金曜日）、23時までに寝ていますか $\underline{<38.7/49.6>}$ ○自分には、良いところがあると思いますか $\underline{<74.2/76.3>}$ ○今住んでいる地域の行事に参加していますか $\underline{<47.3/69.9>}$ ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか $\underline{<49.5/60.7>}$
【家庭学習の様子】	・休日の学習時間は全国平均よりも長い。 ・昨年度よりは肯定的回答が増えたものの、校区内に大きな市立図書館があるという恵まれた環境を活かしきれていない。	○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の時間も含む） $\underline{<17.2/11.7>}$ ○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか $\underline{<8.6/16.4>}$
【学校での学習の様子】	・能動的・主体的な学習について、昨年度よりは肯定的回答が増えたものの、未だ低い割合に留まっている。さらに授業改善に取り組んでいく必要がある。 ・「自分の意見を述べるのが難しい。」「話し合う活動を通じて、考えを深めることができていない。」「感想や意見文を書くのは難しい。」と考えている児童が多い。日々の授業はもちろん、様々な場面でスキル学習も織り込みながら、自らの思いを言葉にして表出する機会（話す・書く）を増やしていく必要がある。	○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め、整理して調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか $\underline{<48.4/65.4>}$ ○5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で、自分たちの課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか $\underline{<57.0/75.7>}$ ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか $\underline{<61.3/54.8>}$ ○学級の友だちとの間で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか $\underline{<58.1/68.3>}$ ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか $\underline{<72.1/60.4>}$

本校の取組み

◎これまでの取組み

○基礎学力の定着をめざして

- ・朝学習の時間（朝の会后、1時間目開始までの15分間）等を活用しての反復学習
- ・毎日の家庭学習課題提供とその後の指導の充実
- ・家庭学習のすすめ（「家庭学習チャレンジウィーク」を特設しての意欲喚起等）
- ・まなびんぐサポート授業を活用した放課後学習（3年生）

○「おちついて取り組める授業」「わかる授業」「楽しい授業」をめざして

- ・適切な学習態度の明示と指導（「聴く」の全校目標化・「聞き方あいいうえお」の指導等）
- ・生活体験に基づく授業導入、また、生活につながる教材や課題の設定
- ・授業毎の「めあて」「まとめ」の明示
- ・自己表現機会の充実（「発表話型」の提供・ペア学習やグループ学習の活用）
- ・個人思考の時間の保障
- ・上記の充実による授業改善検証のための研究授業・研究協議会実施（全学年）

◎これからの取組み

これまで取り組んできたものの再掲も含め、今後充実して行っていく取組みを、以下に示す。

① 授 業

（ア）個人思考の場と集団思考の場の効果的設定と時間の確保

授業の中での「自分の考えをまとめる場」「友人と考えを伝え合う場」「話し合う場」「集団としての考えをまとめる場」を充実させ、授業展開の中に効果的に設定する。その時間保障を行うためにも「教師が語る授業」からの脱却を意識し、児童の能動的学習を引き出すと共に、論理的思考力・言語活動力を高める。

（イ）言語活動学習の場の充実

これまですすめてきた「話し方」や「聴き方」指導を更に充実させ「会話・対話・伝え合い・話し合い」等の型を学ぶ場を設定し、一定のスキルを教えながら、同時にその活用を促していく。また、児童が自分の意見や考えを文章化する機会を増やし、表現力の向上に繋いでいく。

（ウ）学習法・教材・教具の工夫

- ・学習と生活とを結びつける具体教材の活用
- ・視覚教材の活用
- ・視聴覚機器の活用
- ・具体物操作学習
- ・繰り返し考えを書き込むことが可能な「ホワイトボード」の活用

（エ）問題解決型学習機会・資料活用型学習機会の充実

- ・解決に繋がる考え方や資料活用スキルを指導し、児童自らが取り組む機会を多く設定していく。

（オ）「学習規律」や「学習時の約束」等の全校統一化とその提示

- ・指導者が変わっても変わらない約束事の確立により、安心して学べる授業環境をめざす。

② 反復学習の充実

- ・府が作成した基礎学力向上プリント等を活用したドリル学習の充実
- ・毎日の家庭学習課題の提供
- ・「家庭学習チャレンジウィーク」の実施

③ 読書活動の充実

- ・朝の全校一斉読書タイム
- ・授業での図書室活用増
- ・「中央小読書週間」の実施

④ 教科外の自己表現活動充実

- ・児童司会の集会運営
- ・「ふわふわ言葉」運動
- ・児童による校内掲示物作成
- ・暗唱活動
- ・「委員会劇」「名人大会」等の舞台発表
- ・あいさつ運動
- ・全校募集型イベント等の実施